

平成 28 年 11 月 22 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官	後藤 敬一郎
室長補佐	成井 裕子
(担当)	成年者縦断統計企画係
(代表電話)	03(5253)1111 (内線 7592)
(直通電話)	03(3595)2322

第 4 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）及び 第 14 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）の概況

目 次

調査の概要

第 4 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）…………… 1 頁

第 14 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）…………… 3

結果の概要

1 結婚の状況

(1) この 13 年間の結婚の状況（平成 14 年成年者）…………… 5

(2) 3 年間の結婚の状況（平成 14 年成年者・平成 24 年成年者）…………… 7

2 独身者の結婚意欲等（平成 24 年成年者）

(1) 独身者の結婚意欲と交際状況…………… 8

(2) 独身者の家庭観…………… 9

3 独身女性の結婚後の就業継続意欲等（平成 14 年成年者・平成 24 年成年者） 11

参考…………… 12

用語の定義…………… 17

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。
アドレス（http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/）

調査の概要

第4回 21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）

1 調査の目的

21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）（以下、「24年調査」という。）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成24年から実施しており、今回で4回目の実施となる。

2 調査の対象及び客体

平成24年10月末時点で20～29歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第1回調査実施時まで把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第2回又は第3回調査において協力を得られた者を客体とした。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第4回調査 平成27年11月4日（水）

4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、交際異性の有無、結婚意欲、家庭観、家事・育児時間 等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、交際異性の有無、結婚意欲、家庭観、結婚後の就業継続意欲、家事・育児時間 等

6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	9,802	6,765	5,045
（再掲）配偶者票 ^(注)	464	335	220
女性票	10,923	7,999	6,138
（再掲）配偶者票 ^(注)	179	129	87
計	20,725	14,764	11,183

(注) 第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

(参考) 第1回からの調査客体数と回収客体数（第1回調査における男性票及び女性票の対象者）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～29歳	38,879	31,122	80.0%
第2回	21～30歳	33,835	18,979	56.1%
第3回	22～31歳	30,741	15,326	49.9%
第4回	23～32歳	20,082	14,300	71.2%

※ 第1回は、調査員調査により実施

9 利用上の注意

この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

第 14 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）

1 調査の目的

21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）（以下、「14 年調査」という。）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成 14 年から実施しており、今回で 14 回目の実施となる。

2 調査の対象及び客体

平成 14 年 10 月末時点で 20～34 歳であった全国の男女（及びその配偶者（ただし、第 11 回調査実施時までには把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第 12 回又は第 13 回調査において協力を得られた者を客体とした。

3 調査の期日

調査の周期 毎年 1 回（11 月の第一水曜日）

調査の期日 第 14 回調査 平成 27 年 11 月 4 日（水）

4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、交際異性の有無、結婚意欲、家庭観、家事・育児時間 等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、交際異性の有無、結婚意欲、家庭観、結婚後の就業継続意欲、家事・育児時間 等

6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	7,062	6,263	4,206
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	2,268	2,010	1,050
女性票	7,210	6,446	4,516
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	1,346	1,170	530
計	14,272	12,709	8,722

（注）第11回調査における配偶者票対象者は、第12回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

（参考）第1回からの調査客体数と回収客体数（第1回調査における男性票及び女性票の対象者）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～34歳	33,689	27,893	82.8%
第2回	21～35歳	29,683	24,393	82.2%
第3回	22～36歳	25,330	21,563	85.1%
第4回	23～37歳	22,425	19,716	87.9%
第5回	24～38歳	20,204	17,990	89.0%
第6回	25～39歳	18,281	16,444	90.0%
第7回	26～40歳	16,793	15,337	91.3%
第8回	27～41歳	15,870	14,659	92.4%
第9回	28～42歳	15,055	12,876	85.5%
第10回	29～43歳	14,644	12,062	82.4%
第11回	30～44歳	13,293	10,906	82.0%
第12回	31～45歳	12,280	10,551	85.9%
第13回	32～46歳	11,363	9,618	84.6%
第14回	33～47歳	10,658	9,529	89.4%

※ 第8回まで、調査員調査により実施

9 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
------------------------	---

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

結果の概要

1 結婚の状況

(1) この13年間の結婚の状況（平成14年成年者）

- ・ 第1回調査(20～34歳)時に独身だった者のうち、この13年間で結婚した割合は、男性48.4%、女性58.3%
- ・ 第1回調査時に「結婚意欲あり」の独身者の方が、「結婚意欲なし」より、この13年間で結婚した割合が高い

14年調査における第1回調査(20～34歳)時に独身だった者のうち、この13年間で結婚した割合は、男性48.4%、女性58.3%となっている(表1、図1)。

また、第1回調査時の結婚意欲別にみると、男女とも、「結婚意欲あり」の方が「結婚意欲なし」より、この13年間で結婚した割合が高い(図2)。

表1 性、年齢階級別にみたこの13年間の結婚の状況【14年調査(第14回)】

(単位：%)

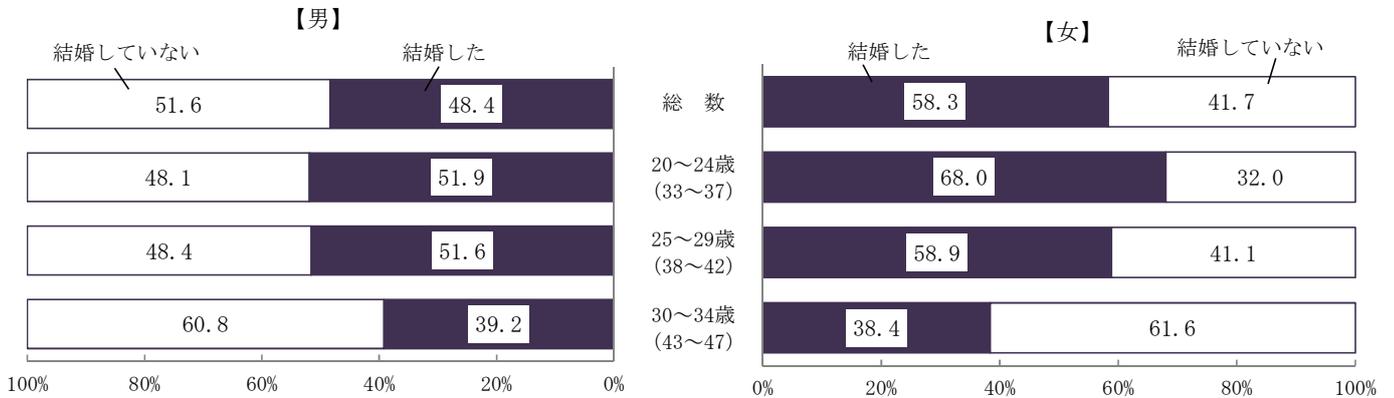
		第1回調査時の配偶者の有無			この13年間の結婚の状況		
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した ²⁾	結婚していない	
第1回調査時の年齢階級	男	(100.0)	100.0	36.6	63.4	30.7	32.8
	20～24歳(33～37)	(24.4)	100.0	3.5	96.5	50.1	46.4
	25～29歳(38～42)	(32.5)	100.0	30.0	70.0	36.1	33.9
	30～34歳(43～47)	(43.2)	100.0	60.2	39.8	15.6	24.2
内は第14回調査時	女	(100.0)	100.0	42.5	57.5	33.5	24.0
	20～24歳(33～37)	(25.9)	100.0	5.0	95.0	64.6	30.4
	25～29歳(38～42)	(32.9)	100.0	38.5	61.5	36.2	25.2
	30～34歳(43～47)	(41.2)	100.0	69.3	30.7	11.8	18.9

注：1)集計対象は、12頁(1)①を参照。

2)「結婚した」には、この13年間に結婚した後離婚した者を含む。

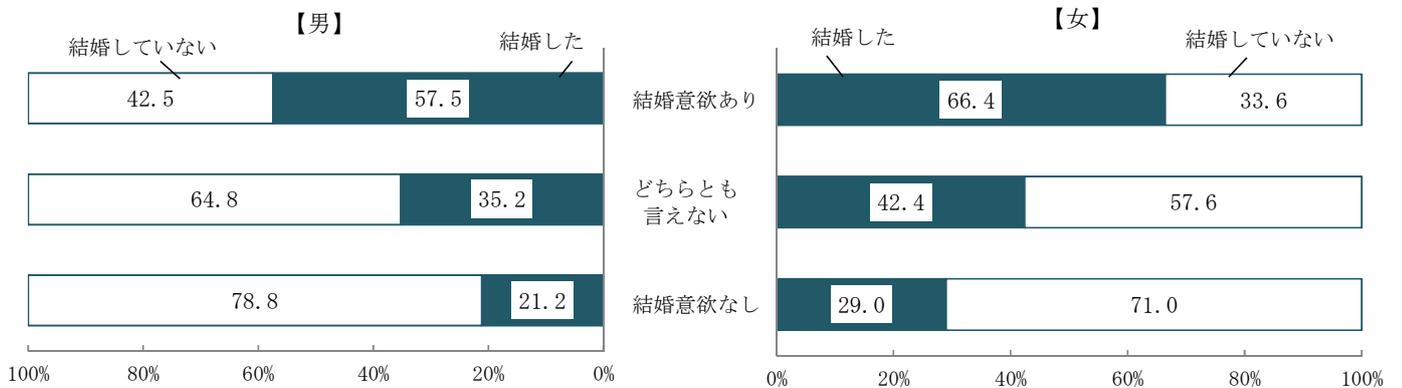
3)[]内は、第1回調査時に配偶者なしであった者を総数としたこの13年間の結婚の状況の割合である。

図1 第1回調査時に独身だった者の性、年齢階級別にみたこの13年間の結婚の状況
【14年調査（第14回）】



注：1)集計対象は、12頁（1）①を参照。
2)「結婚した」には、この13年間に結婚した後離婚した者を含む。
3)年齢は第1回調査時の年齢である。（ ）内は第14回調査時の年齢である。

図2 第1回調査時に独身だった者の性、結婚意欲別にみたこの13年間の結婚の状況
【14年調査（第14回）】



注：1)集計対象は、12頁（1）①を参照。
2)「結婚した」には、この13年間に結婚した後離婚した者を含む。
3)結婚意欲は第1回調査時で、「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

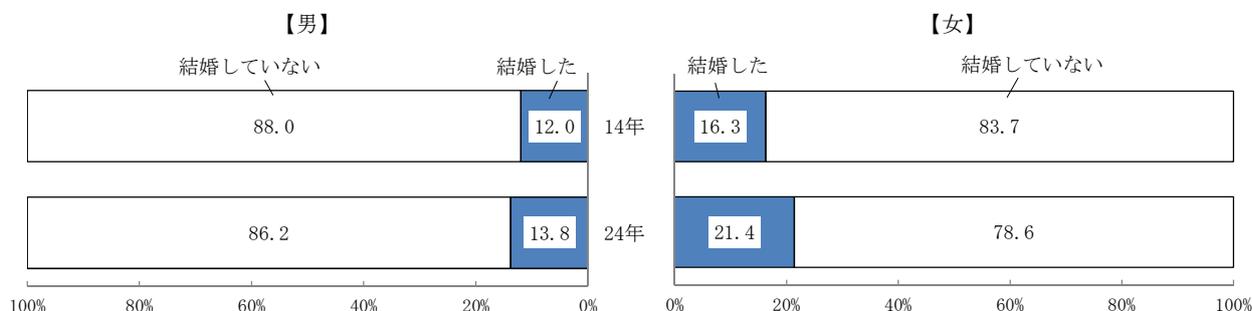
(2) 3年間の結婚の状況（平成14年成年者・平成24年成年者）

第1回調査(20～29歳)時に独身だった者のうち、結婚意欲別に3年間の結婚の状況をみると、10年前に比べ、男女とも、「結婚意欲あり」で結婚した割合は高くなっている

14年調査と24年調査における、第1回調査(20～29歳)時に独身だった者について、3年間の結婚の状況をみると、10年前に比べ、女性の方が男性よりも、結婚した割合は高くなっている(図3)。

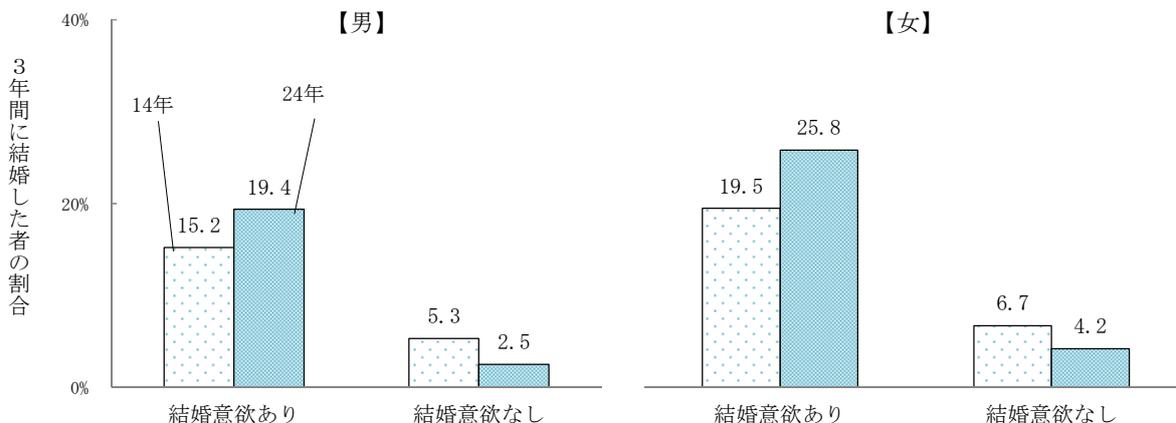
また、第1回調査時の結婚意欲別に3年間の結婚の状況をみると、10年前に比べ、男女とも、「結婚意欲あり」で結婚した割合は高くなっている(図4)。

図3 第1回調査時に独身だった者の性別にみた3年間の結婚の状況
【14年調査(第4回)・24年調査(第4回)】



注：1)集計対象は、12頁(1)②及び(2)を参照。
2)「結婚した」には、3年間に結婚した後離婚した者を含む。

図4 第1回調査時に独身だった者の性、結婚意欲の有無別にみた3年間に結婚した者の割合
【14年調査(第4回)・24年調査(第4回)】



注：1)集計対象は、12頁(1)②及び(2)を参照。
2)「結婚した」には、3年間に結婚した後離婚した者を含む。
3)結婚意欲の有無は第1回調査時で、「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

2 独身者の結婚意欲等（平成 24 年成年者）

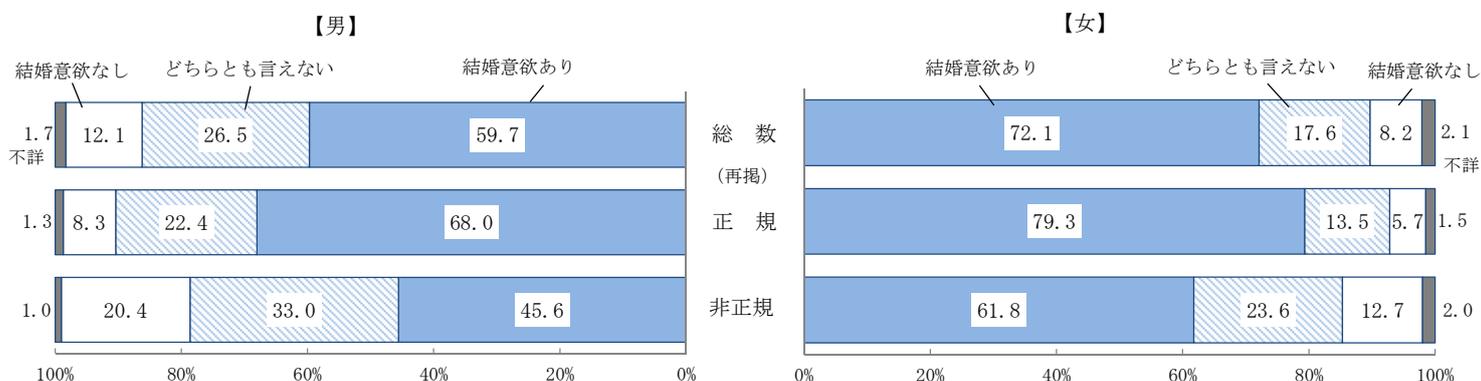
（1）独身者の結婚意欲と交際状況

- ・ 独身者の「結婚意欲あり」の割合は、男性 59.7%、女性 72.1%となっており、女性の方が男性より高い
- ・ 結婚意欲がある独身者の「交際異性あり」の割合は、男性 35.1%、女性 44.6%となっており、女性の方が男性より高い

24 年調査における第 4 回調査の独身者の結婚意欲を性別にみると、「結婚意欲あり」の割合は男性 59.7%、女性 72.1%となっており、女性の方が男性より高い。また、就業形態別にみると、男女とも、「結婚意欲あり」の割合は「正規」の方が「非正規」より高い。（図 5）

結婚意欲がある独身者の交際状況をみると、「交際異性あり」の割合は男性 35.1%、女性 44.6%となっており、女性の方が男性より高い。また、就業形態別にみると、男女とも、「交際異性あり」の割合は「正規」の方が「非正規」より高い。（図 6）

図 5 独身者の性、就業形態別にみた結婚意欲の状況【24 年調査（第 4 回）】

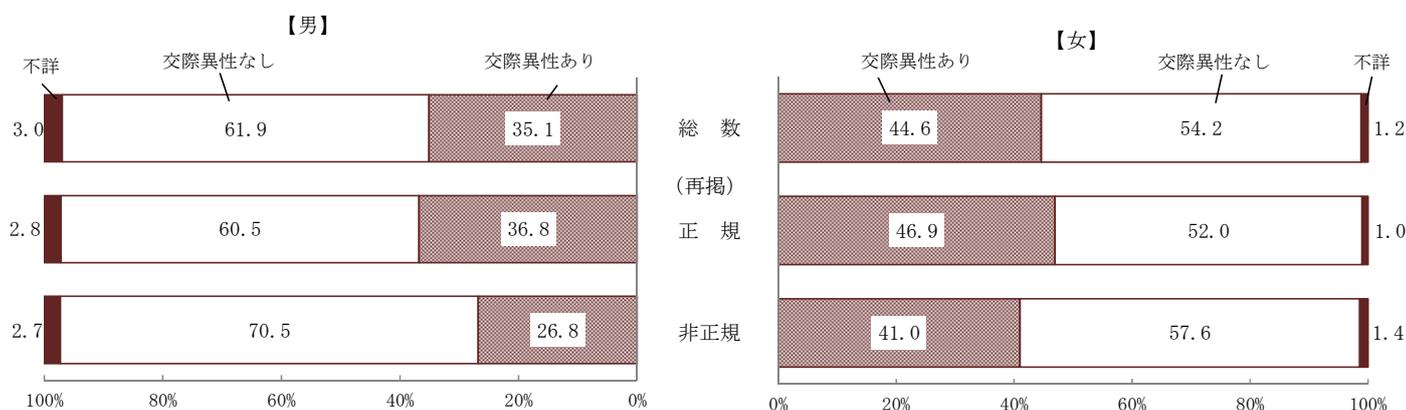


注：1)集計対象は、12 頁（2）を参照。

2)「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3)「総数」には、「正規」「非正規」以外の就業形態等を含む。

図 6 結婚意欲がある独身者の性、就業形態別にみた交際状況【24 年調査（第 4 回）】



注：1)集計対象は、12 頁（2）を参照。

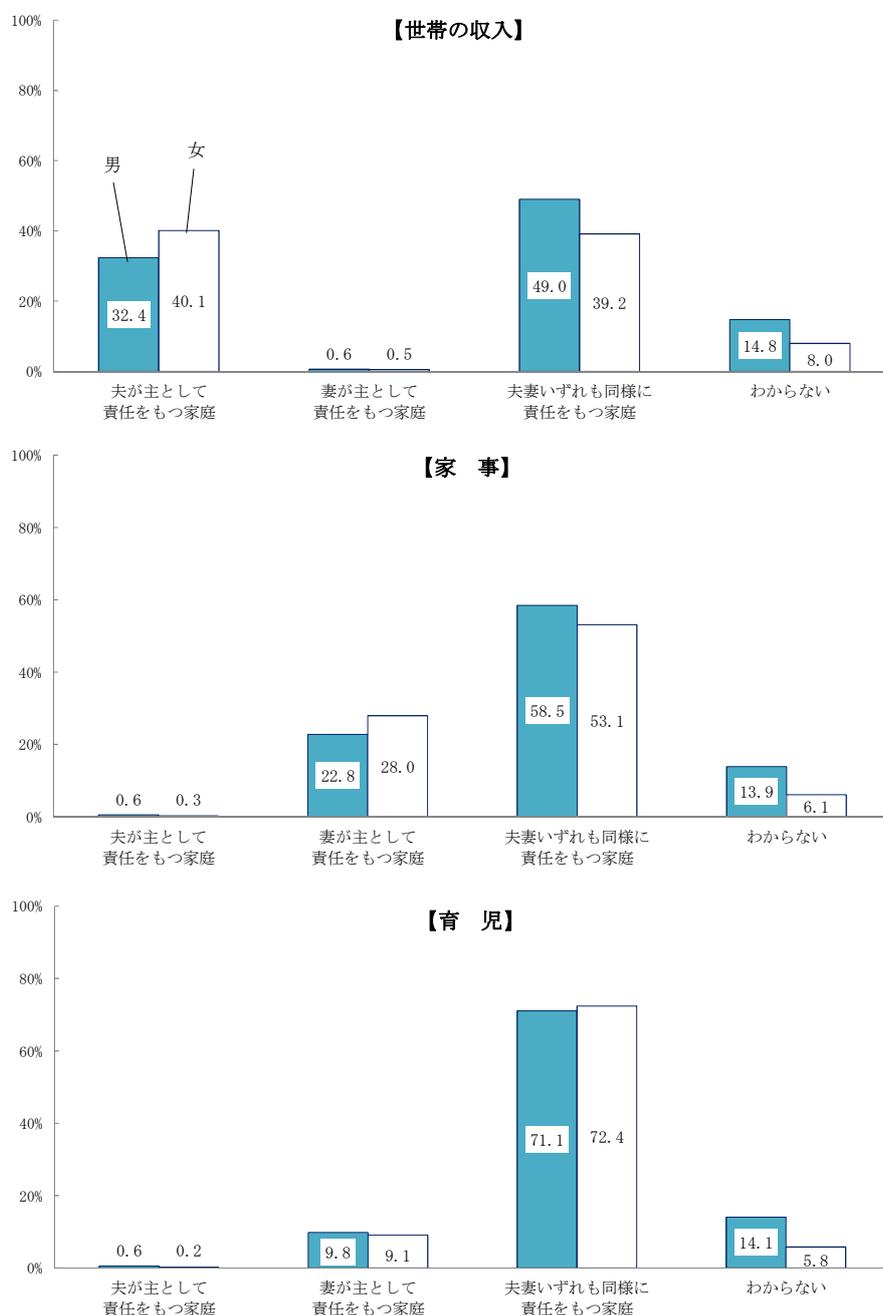
2)「総数」には、「正規」「非正規」以外の就業形態等を含む。

(2) 独身者の家庭観

- ・ 男性は「世帯の収入」「家事」「育児」全てで「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」の割合が最も高い
- ・ 女性は「世帯の収入」は「夫が主として責任をもつ家庭」「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」の割合がどちらも約4割と高く、「家事」「育児」は「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」の割合が最も高い

24年調査における第4回調査の独身男女の家庭観をみると、男性は「世帯の収入」「家事」「育児」全てで「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」の割合が、それぞれ49.0%、58.5%、71.1%と最も高い。女性は「世帯の収入」は「夫が主として責任をもつ家庭」の割合が40.1%、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」の割合が39.2%と高く、「家事」「育児」は「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」の割合が、それぞれ53.1%、72.4%と最も高い。(図7)

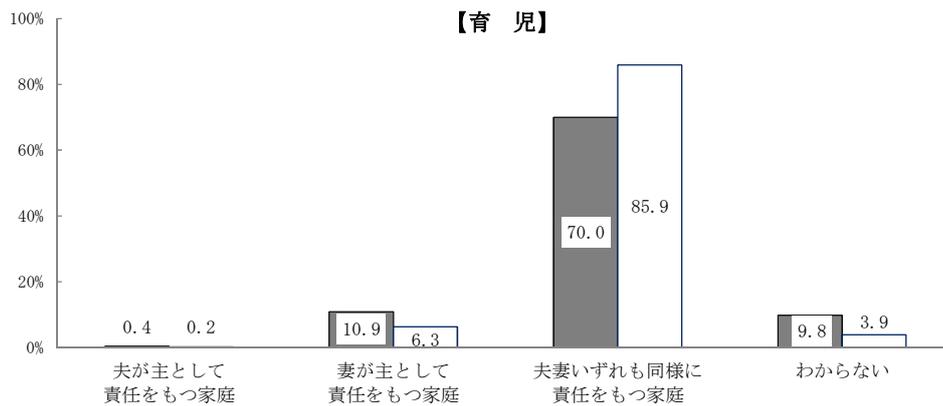
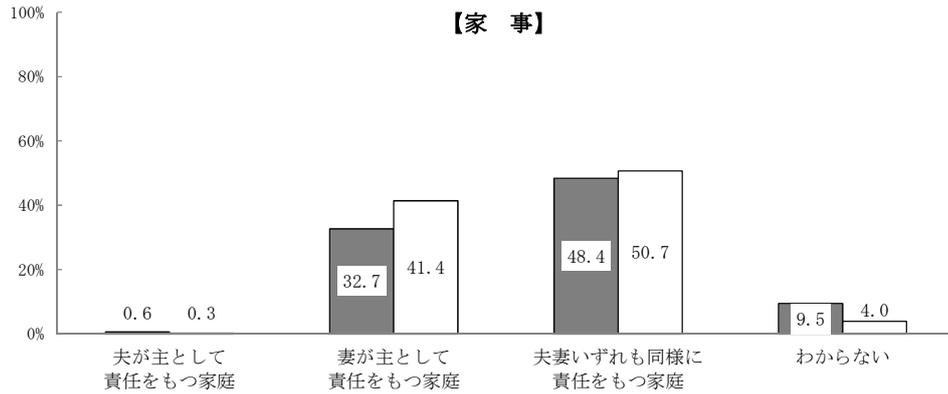
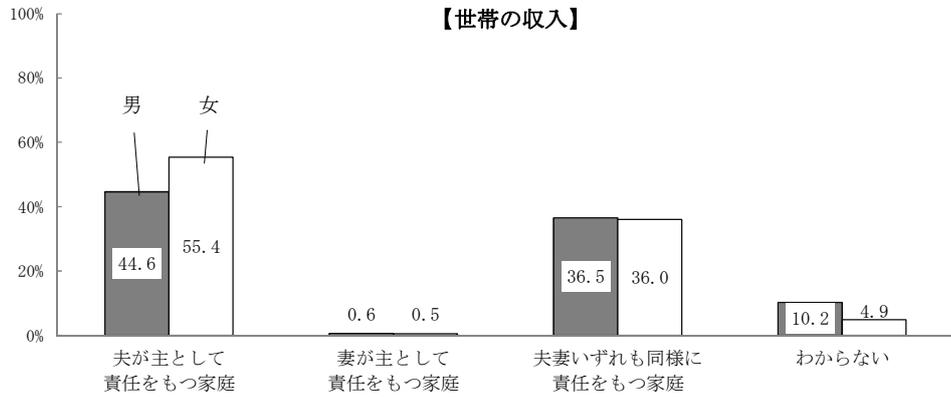
図7 独身者の性別にみた家庭観の状況【24年調査(第4回)】



注：集計対象は、12頁(2)を参照。

参考図 独身者の性別にみた家庭観の状況【14年調査（第5回）】

（「家庭観」について、14年調査は第5回調査結果のため、24年調査（第4回）との比較には注意が必要である。）



注：集計対象は、12頁（1）③を参照。

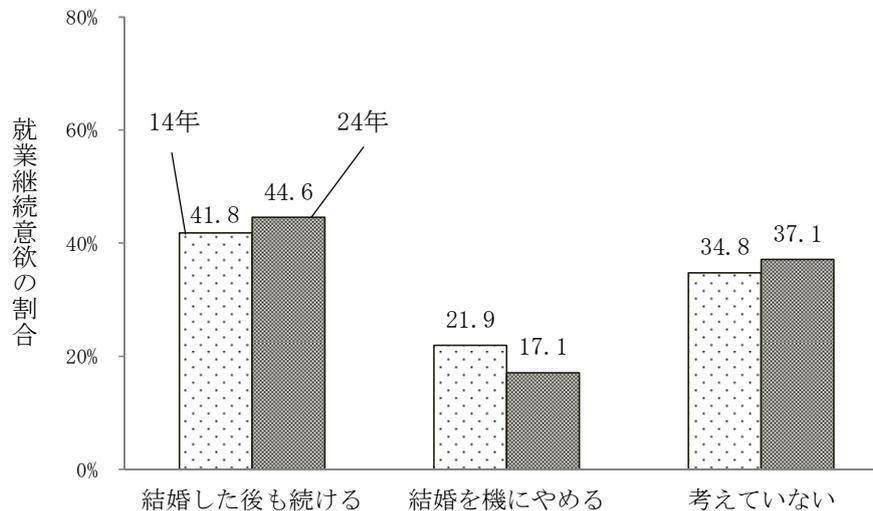
3 独身女性の結婚後の就業継続意欲等（平成 14 年成年者・平成 24 年成年者）

- ・ 独身女性の結婚後の就業継続意欲をみると、10 年前に比べ、「結婚した後も続ける」の割合は高くなり、「結婚を機にやめる」の割合は低くなっている
- ・ 「結婚した後も続ける」と回答した独身女性について、出産後の就業継続意欲をみると、10 年前に比べ、「出産した後も続ける」の割合は高くなり、「出産を機にやめる」の割合は低くなっている

14 年調査と 24 年調査における、第 4 回調査の独身女性（仕事あり）について、結婚後の就業継続意欲をみると、10 年前に比べ、「結婚した後も続ける」の割合は高くなり、「結婚を機にやめる」の割合は低くなっている（図 8）。

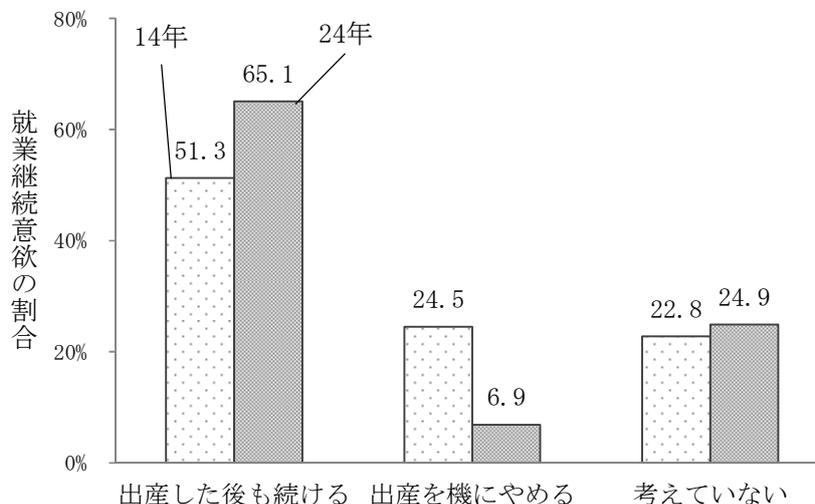
また、「結婚した後も続ける」と回答した独身女性について、出産後の就業継続意欲をみると、10 年前に比べ、「出産した後も続ける」の割合は高くなり、「出産を機にやめる」の割合は低くなっている（図 9）。

図 8 独身女性の結婚後の就業継続意欲の状況
【14 年調査（第 4 回）・24 年調査（第 4 回）】



注：集計対象は、12 頁（1）②及び（2）を参照。

図 9 「結婚した後も続ける」と回答した独身女性の出産後の就業継続意欲の状況
【14 年調査（第 4 回）・24 年調査（第 4 回）】



注：1) 集計対象は、12 頁（1）②及び（2）を参照。

2) 24 年調査の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。

参 考

1 集計対象の条件

(1)14年調査

①第1回調査から第14回調査までの蓄積データ

集計対象の条件	図表番号
第1回調査から第14回調査まで継続して回答している者	表 1
第1回調査時の独身者	図 1 図 2

②第1回調査から第4回調査までの蓄積データ

集計対象の条件	図表番号
第1回調査から第4回調査まで継続して回答している者	図 3 図 4
第1回調査時に20～29歳の独身者	図 8
3年間（第1回から第4回調査）に結婚しなかった者で、第4回調査の結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者 ※「絶対したくない」は対象外	図 9
第4回調査時に所得を伴う仕事のあった女性	図 9
第4回調査の結婚後の就業継続意欲を「結婚した後も続ける」と回答し、子どもを持つ意欲を「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」、かつ希望子ども数を1人以上と回答した者	図 9

③第1回調査から第5回調査までの蓄積データ

集計対象の条件	図表番号
第1回調査から第5回調査まで継続して回答している者	参考図
第1回調査時に20～29歳の独身で、4年間（第1回から第5回調査）に結婚しなかった者で、かつ第5回調査の結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者 ※「絶対したくない」は対象外	参考図

(2)24年調査

第1回調査から第4回調査までの蓄積データ

集計対象の条件	図表番号
第1回調査から第4回調査まで継続して回答している者	図 3 図 4
第1回調査時の独身者	図 5
3年間（第1回から第4回調査）に結婚しなかった者	図 6
第4回調査時の既卒者	図 6
第4回調査の結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者	図 7
第4回調査の結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者 ※「絶対したくない」は対象外	図 7
第4回調査時に所得を伴う仕事のあった女性	図 8
第4回調査の結婚後の就業継続意欲を「結婚した後も続ける」と回答し、希望子ども数を1人以上と回答した者	図 9

2 集計客体数一覧

表1、図1 性、年齢階級別にみたこの13年間の結婚の状況
【14年調査(第14回)】

(単位:人)

		第1回調査時の配偶者の有無		この13年間の結婚の状況		
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した ²⁾	結婚していない
第1回調査時の年齢階級 (内は第14回調査時)	男	3 061	1 119	1 942	939	1 003
	20~24歳 (33~37)	746	26	720	374	346
	25~29歳 (38~42)	994	298	696	359	337
	30~34歳 (43~47)	1 321	795	526	206	320
	女	3 812	1 621	2 191	1 277	914
	20~24歳 (33~37)	986	49	937	637	300
	25~29歳 (38~42)	1 256	484	772	455	317
	30~34歳 (43~47)	1 570	1 088	482	185	297

注: 1) 集計対象は、12頁(1)①を参照。

2) 「結婚した」には、この13年間に結婚した後離婚した者を含む。

図2 第1回調査時に独身だった者の性、結婚意欲別にみたこの13年間の結婚の状況
【14年調査(第14回)】

(単位:人)

	総数	結婚した ²⁾	結婚していない
男	1 942	939	1 003
結婚意欲あり	1 223	703	520
絶対したい	507	338	169
なるべくしたい	716	365	351
どちらとも言えない	505	178	327
結婚意欲なし	151	32	119
あまりしたくない	112	28	84
絶対したくない	39	4	35
不詳	63	26	37
女	2 191	1 277	914
結婚意欲あり	1 523	1 012	511
絶対したい	728	534	194
なるべくしたい	795	478	317
どちらとも言えない	441	187	254
結婚意欲なし	183	53	130
あまりしたくない	135	45	90
絶対したくない	48	8	40
不詳	44	25	19

注: 1) 集計対象は、12頁(1)①を参照。

2) 「結婚した」には、この13年間に結婚した後離婚した者を含む。

3) 結婚意欲は第1回調査時の回答。

図3、図4 第1回調査時に独身だった者の性、結婚意欲別にみた3年間の結婚の状況
【14年調査(第4回)】・【24年調査(第4回)】

(単位:人)

		総数	結婚 した ²⁾	結婚して いない
14 年 調 査 (第 4 回)	男	4 250	511	3 739
	結婚意欲あり	2 567	390	2 177
	絶対したい	1 064	215	849
	なるべくしたい	1 503	175	1 328
	どちらとも言えない	1 178	81	1 097
	結婚意欲なし	341	18	323
	あまりしたくない	246	13	233
	絶対したくない	95	5	90
	不詳	164	22	142
	女	4 250	693	3 557
結婚意欲あり	2 960	577	2 383	
絶対したい	1 471	353	1 118	
なるべくしたい	1 489	224	1 265	
どちらとも言えない	853	77	776	
結婚意欲なし	345	23	322	
あまりしたくない	267	21	246	
絶対したくない	78	2	76	
不詳	92	16	76	
24 年 調 査 (第 4 回)	男	4 279	590	3 689
	結婚意欲あり	2 624	509	2 115
	絶対したい	1 093	294	799
	なるべくしたい	1 531	215	1 316
	どちらとも言えない	1 133	61	1 072
	結婚意欲なし	441	11	430
	あまりしたくない	285	8	277
	絶対したくない	156	3	153
	不詳	81	9	72
	女	5 215	1 114	4 101
結婚意欲あり	3 941	1 015	2 926	
絶対したい	2 092	671	1 421	
なるべくしたい	1 849	344	1 505	
どちらとも言えない	875	77	798	
結婚意欲なし	360	15	345	
あまりしたくない	238	9	229	
絶対したくない	122	6	116	
不詳	39	7	32	

注: 1) 集計対象は、12頁(1)②及び(2)を参照。
2) 「結婚した」には、3年間に結婚した後離婚した者を含む。
3) 結婚意欲は第1回調査時の回答。

図5 独身者の性、就業形態別にみた結婚意欲の状況
【24年調査(第4回)】

(単位:人)

	総数	結婚意欲あり		どちらとも言えない	結婚意欲なし		不詳
		絶対したい	なるべくしたい		あまりしたくない	絶対したくない	
男 ²⁾	2 891	1 726	628	1 098	767	349	49
(再掲) 正規	1 869	1 270	473	797	419	156	24
(再掲) 非正規	491	224	67	157	162	100	5
女 ²⁾	3 503	2 527	1 234	1 293	616	288	72
(再掲) 正規	2 169	1 719	861	858	293	124	33
(再掲) 非正規	900	556	259	297	212	114	18

注: 1) 集計対象は、12頁(2)を参照。
2) 「男」「女」には、それぞれ「正規」「非正規」以外の就業形態等を含む。

図6 結婚意欲がある独身者の性、就業形態別にみた交際状況
【24年調査(第4回)】

(単位:人)

	総数	交際異性あり	交際異性なし	不詳
男 ²⁾	1 726	606	1 068	52
(再掲) 正規	1 270	467	768	35
(再掲) 非正規	224	60	158	6
女 ²⁾	2 527	1 127	1 369	31
(再掲) 正規	1 719	807	894	18
(再掲) 非正規	556	228	320	8

注: 1) 集計対象は、12頁(2)を参照。
2) 「男」「女」には、それぞれ「正規」「非正規」以外の就業形態等を含む。

図7 独身者の性別にみた家庭観の状況
【24年調査(第4回)】

(単位:人)

	総数	夫が主として責任をもつ家庭	妻が主として責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭	わからない	不詳
世帯の収入						
男	3 449	1 117	20	1 690	509	113
女	3 898	1 564	18	1 529	311	476
家事						
男	3 449	20	785	2 017	478	149
女	3 898	10	1 090	2 071	238	489
育児						
男	3 449	19	339	2 452	487	152
女	3 898	7	355	2 823	225	488

注: 集計対象は、12頁(2)を参照。

参考図 独身者の性別にみた家庭観の状況
【14年調査(第5回)】

(単位:人)

	総数	夫が主として責任をもつ家庭	妻が主として責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭	わからない	不詳
世帯の収入						
男	2 987	1 332	18	1 089	306	242
女	2 868	1 588	14	1 032	141	93
家事						
男	2 987	18	977	1 445	284	263
女	2 868	9	1 187	1 453	114	105
育児						
男	2 987	11	326	2 092	293	265
女	2 868	7	180	2 463	112	106

注: 集計対象は、12頁(1)③を参照。

図8 独身女性の結婚後の就業継続意欲の状況
【14年調査(第4回)】・【24年調査(第4回)】

(単位:人)

	総数	結婚した後も続ける	結婚を機にやめる	考えていない	不詳
14年調査(第4回)	3 098	1 295	677	1 078	48
24年調査(第4回)	3 504	1 564	598	1 301	41

注: 集計対象は、12頁(1)②及び(2)を参照。

図9 「結婚した後も続ける」と回答した独身女性の出産後の就業継続意欲の状況
【14年調査(第4回)】・【24年調査(第4回)】

(単位:人)

	総数	出産した後も続ける	出産を機にやめる	考えていない	考えていない		不詳
					続けるかどうか考えていない	今後の出産は考えていない	
14年調査(第4回)	1 092	560	268	249	15
24年調査(第4回)	1 383	901	95	344	304	40	43

注: 集計対象は、12頁(1)②及び(2)を参照。

用語の定義

- 1 「**独身**」又は「**独身者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別及び死別は区別していない。また、「子どもあり」の者も含まれる。
- 2 「**結婚した**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者を含む。
- 3 「**結婚意欲**」とは、「今後、結婚したいと思いますか。」と質問したものである。
- 4 「**既卒**」とは、最終学歴が「卒業」となっていることをいう。
- 5 「**正規**」、「**非正規**」は次の就業形態をいい、「勤め先での呼称」に基づいている。
正 規 …… 正規の職員・従業員
非 正 規 …… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託、その他
- 6 「**家庭観**」とは、14年調査は、第1回、第5回、第9回、第14回調査において、24年調査は、第1回、第4回調査において、「世帯の収入」「家事」「育児」について「夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。」と質問したものである。
- 7 「**結婚後の就業継続意欲**」とは、14年調査は、第1回、第4回、第7回、第10回、第14回調査において、24年調査は、第1回、第4回調査において、「結婚した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 8 「**出産後の就業継続意欲**」とは、14年調査は、第1回、第4回、第7回から第14回調査において、24年調査は、第1回から第4回調査において、「出産した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 9 「**第1回調査時**」～「**第14回調査時**」とは、14年調査におけるそれぞれの回の調査時点で把握した項目である。また、「**第1回調査時**」～「**第4回調査時**」とは、24年調査におけるそれぞれの回の調査時点で把握した項目である。
- 10 「**この13年間**」とは、14年調査における第1回調査から第14回調査までの間のことをいう。
- 11 「**3年間**」とは、14年調査及び24年調査における第1回調査から第4回調査までの間のことをいう。